

与論町海洋教育プログラム(提案書)

実施者: NPO法人海の再生ネットワークよろん/池田香菜
 連絡先: uminosaiseinetyoron@yahoo.co.jp/080-5075-3457

学習のねらい	<input checked="" type="checkbox"/> 海に親しむ	<input checked="" type="checkbox"/> 海を知る	<input type="checkbox"/> 海を守る	<input type="checkbox"/> 海を利用する
	「身近な海を科学しよう！いつもとちがって見える海岸」 海岸には行ったことがあると想像するが、人によってその見方はさまざまである。海岸植物・漂着物・岩盤・海中のサンゴなどをゲームやクイズを用いて観察することで、身近な海に新たな発見を提供する。また、それぞれの役割を学ぶことで、海岸生態系について見て感じながら学ぶ。			
	<input type="checkbox"/> 情報収集・判断	<input type="checkbox"/> 対話	<input type="checkbox"/> 問題解決	<input type="checkbox"/> 持続的利用
	<input type="checkbox"/> 感動	<input type="checkbox"/> 関係	<input type="checkbox"/> 主体	<input type="checkbox"/> 継続
実施について	対象: 小学4～6年生	時期: 4～10月 (昼の干潮時)	場所: 黒花海岸	時間: 135分(3コマ)
内容	<ul style="list-style-type: none"> ●担任の先生の挨拶、今日の流れの説明(5分) —海岸へ移動(15～20分)— ・同じもの探しゲーム(20分) あらかじめ用意しておいた海岸にあるモノと同じものを、グループごとに見つけて持ってきてくる。植物や漂着物などがお題。 ・マクロな目線で海岸をツアー(40分) 海岸植物や漂着物について、それぞれの名前や役割を説明しながらツアー ・サンゴの観察(10分) 干潮時に膝下程度の水深に生息するサンゴをハコメガネで観察。 —教室へ移動(15～20分)— ・グループごとに、今日感じたことをワークシートに記入(15分) ・気づきの発表(数名) ●担任の先生の挨拶・まとめ(5分) 			
備品	持ち込み: ハコメガネ(最大5個)、ワークシート2種類 準備: 帽子、飲み物持参。海に足だけ漬けるので、海に入ってもいい靴の着用。 ワークシートを野外で記入するためのバインダー。			
その他	海岸での授業のため、雨天中止。 バスを借り上げする必要あり。 今後、校区によって学びの場所を変えられるか検討中。			